

令和5年10月25日

諏訪市長 金子 ゆかり 様

諏訪商工会議所
会 頭 山 谷 恭 博

令和6年度諏訪市施策に対する要望について（案）

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は当所の活動に対しまして格別のご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

また諏訪市の抱える多くの課題の解決に向けて、積極的なお取り組みいただいていることに対しまして深く敬意を表します。

このたび、当所では地域の中小企業・小規模事業者の活性化と活力ある地域経済の発展のため、当所会員事業者から寄せられた様々な意見を集約し、令和6年度の諏訪市政、予算編成に関して優先的にお取り組みいただきたい要望事項を取りまとめましたので、特段のご高配を賜りますようお願いいたします。

目 次

1. 諏訪湖イベントひろばを活用した産業振興について
2. 人件費の上昇や、資源価格・仕入れ価格・原材料価格高騰の影響を受ける事業者への支援について
3. JR上諏訪駅西口広場整備の早期実現と西口改札の新設について
4. 工業用地確保について
5. 国道20号諏訪バイパスの早期事業化について
6. 諏訪市観光グランドデザインについて
7. 諏訪湖祭湖上花火大会の開催について
8. デジタルシフトの加速化とDX推進、サイバーセキュリティ対策強化に向けた支援について
9. 社会基盤を支える建設業への支援施策の充実について
10. 制度資金の拡充について
11. 電動車普及のための充電施設設置への支援について
12. 産業人材育成について
13. 統廃合による廃校となった校舎の活用について
14. 諏訪湖周辺への駐車場の確保と観光客にわかりやすい案内板の設置について
15. 産業関連集積地周辺の老朽化したインフラ整備について
16. 市内道路の渋滞解消のための研究について
17. 諏訪市議会中継のオンデマンド配信について
18. 長野県への要望について

要 望 事 項

1. 諏訪湖イベントひろばを活用した産業振興について

第6次諏訪市総合計画【産業】基本方針④工業では、『選ばれる続けるものづくり地域』として、【主な施策方針】のもと「選ばれ続けるものづくり地域」を目指すにあたり、「諏訪湖イベントひろばを活用した産業振興」について、具体的な計画実施時期の見通しが全く見えておりません。

改めて、長期的・広域的な視点で諏訪市だけの基本計画ではなく、諏訪地域の産業振興・長野県の産業振興を見据えて「諏訪湖イベントひろば」の活用について近隣市町村・長野県や国を交えて再考していただきたい。

具体的には、

(1) 3,000 m²を上限とした新築について再考いただきたい。

(本年工業メッセ岡谷開催にあたり、約3000 m²について検討する中で、改めて規模感の大切さを痛感しています。出展企業数や展示規模に大きな制約を感じ、諏訪圏工業メッセによる産業振興の効果で3,000 m²は狭いと実感しました。)

(2) 建て替えへの具体的な計画が策定され、事業完成が見通せるまでの間、現建屋を修繕し、改めて利用することについても再考いただきたい。

2. 人件費の上昇や、資源価格・仕入れ価格・原材料価格高騰の影響を受ける事業者への支援について

(1) 最低賃金の引き上げや、資源価格、仕入れ価格・原材料価格の高騰により、多くの事業所が深刻な影響を受けておりますので、引き続き強力な経済対策を講じていただきたい。

(2) 消費喚起策としての「プレミアム付き商品券」事業を令和6年度も継続するとともに、実施に当たっては、電子商品券やQR決済などの導入についても検討いただきたい。

3. JR上諏訪駅西口広場整備の早期実現と西口改札の新設について

駅西口を二次交通の拠点（ターミナル）として整備し、路線バス、高速バス、かりんちゃんバスの発着を集約することで市民や観光客の利便性が向上するものと考えます。

上諏訪駅周辺の活性化と上諏訪駅利用者の利便性向上のため、諏訪の玄関口としての西口広場を早期に整備するとともに、西口改札の新設について検討していただきたい。
を図るため、

4. 工業用地確保について

当所では、過去何度も工業用地確保について要望してきました。現状では難しいと理解しておりますが、長期的な視点で是非、工業用地・産業用地確保に取り組んでいただきたい。

第6次諏訪市総合計画【産業】基本方針①工業では、【今後起こりえる課題など】として「事業所の域外流出等を抑止するための支援が必要となります」としてはありますが、【主な支援施策方針】からは域外流出等を抑止するための支援について効果的な方針が示されていません。工業用地・産業用地確保について、あきらめず、投げ出さず、諏訪市産業振興の未来のために、様々な角度から検討を続けるよう次回基本計画などに反映していただきたい。

5. 国道20号諏訪バイパスの早期事業化について

国道20号諏訪バイパスは、都市計画決定に向けて各手続きが着実に進められておりますことに対して感謝申し上げます。

引き続き、諏訪バイパスが一日も早く建設できるよう、全線の早期事業化に向けてのご努力をお願いしたい。

6. 諏訪市観光ランドデザインについて

昨年の要望書において要望いたしました、「諏訪観光ランドデザインに沿った諏訪市の観光の将来像実現のためのロードマップを示していただきたい。」との要望に対して回答をいただいていませんので、再度要望いたします。

また「諏訪観光ランドデザイン」に沿った諏訪市としての具体的な施策やプランについてお示しいただきたい。

7. 諏訪湖祭湖上花火大会の開催について

本年度の諏訪湖祭湖上花火大会は、天候にも恵まれ、新型コロナウイルス感染症拡大前の賑わいが戻り、多くの観客に感動を与える花火大会を開催していただき深く感謝申し上げます。

今後さらに充実した大会となるよう下記事項について検討いただきたい。

- (1) フードコートの設置により、湖畔一带から露店をすべて排除したことにより、フードコートや湖畔のコンビニエンスストアでは飲食を買い求めるお客で大混雑となり、40分以上待たされるなどの不満の声が寄せられるとともに、露店などのお祭りの雰囲気を楽しみながら花火を見る観客にとっては不満の残る大会となってしまいました。安全対策を講ずることは大前提ではありますが、露店は片側だけにすることで、十分な安全対策は講じられると考えますので、来年度の開催に向けて再検討していただきたい。
- (2) 大きな費用のかかる打上台の常設化について、県との協議を進め、その実現を図っていただきたい。

8. デジタルシフトの加速化とDX推進、サイバーセキュリティ対策強化に向けた支援について

(1) 中小企業におけるデジタルシフトの加速化とDX推進

デジタルシフトへ向けての課題として、費用がかかることが挙げられます。そのため現在、製造業・ソフトウェア業のみが対象となっている「AI・IoT導入支援事業補助金」や「外部人材活用補助金」については、対象業種を拡大するとともに、補助額の増額をお願いしたい。

また、デジタル人材の不足の課題に対し、継続的にITを活用して社内の生産性向上を実現するために社内の人材育成が急務であります。従業員のITリテラシー向上に向け、DX人材育成支援の強化をお願いしたい。

(2) サイバーセキュリティ対策強化に向けた支援

中小企業におけるIT活用・デジタルシフトの進展に伴い、企業規模に関わらず特定の組織を狙う「標的型攻撃」や、身代金要求型不正プログラム「ランサムウェア」などサイバー被害が増加し、中小企業・小規模事業者においてもその対策が急務となっています。しかしながら、「ITの知識がないため何かあった時のセキュリティ対応は難しい」「費用負担が大きい」といった問題が上がっております。

中小企業の規模や業態などに応じたサイバーセキュリティ対策の事例を示すなど、

具体的な情報発信の強化と、専門家によるセキュリティマネジメントの支援や、導入費用に対する補助制度を創設していただきたい。

(3) 市役所のデジタルガバメントの推進

国においてはデジタル庁を創設し、行政のデジタルシフトに向けた動きが進んでいます。補助金・助成金などに関する申請書類・報告書類などといった各種申請や手続き、決済などのデジタル化、オンライン手続の推進及び「はんこレス」の拡大などを通じて、中小企業の手間・コストの削減や利便性の向上など、具体的なメリットを享受・実感できるよう、行政のデジタルシフトをお願いしたい。

また、デジタルガバメントの推進にあたっては、取り残される中小企業・小規模事業者が生まれることがないように十分な支援策、サポート体制の強化についてもあわせて検討をしていただきたい。

9. 社会基盤を支える建設業への支援施策の充実について

地域の建設業は、社会基盤の整備や維持管理を担い、また災害時における応急復旧や降雪時の除雪など地域を支える重要な役割を担っております。

しかしながら、建設業界は、高齢化等により専門技術者などの減少が続き、非常に厳しい状況にあります。

つきましては、地域の社会基盤を支え、諏訪市産業の一翼を担う建設業が存続し、さらに発展できるよう下記事項について要望します。

(1) 資格取得のための補助制度の創設を再度要望します。

市からの直接補助が難しい場合は、厚生労働省の補助金を活用し専門技術者を育てるため、社会保険労務士の相談料を補助する制度の新設を検討していただきたい。

(2) 建設資材価格が急騰しております。こうした状況を公共事業の設計単価に反映していただいておりますが、価格変動が激しい現在においては、転嫁しきれない場合が多く発生しておりますので、設計単価の見直しを的確に行っていただきたい。

(3) 建設業ではここ何年か前から慢性的な要員不足に陥っています。特に昼夜、土日祝日を問わず、不規則な勤務が多い建設業では若者の離職率が特に高くなっています。

一企業だけの問題でなく安心安全なインフラ整備の最前線を揺るがしかねない問題であり、各社経営努力を続けているものの、特に「夜間工事の実施縮小」については是非協力をいただき、働き方改革・建設業従事者のワークライフバランス形成のため「昼間工事」の実施に理解が得られるよう取り組んでいただきたい。

10. 制度資金の拡充について

諏訪市の制度資金は他市の制度資金と比べて充実していると評価しておりますが、より一層充実した制度資金とするため、下記について検討していただきたい。

- (1) 原材料費やエネルギー価格の高騰など厳しい経済環境が続く中、新規創業者は経営が安定するまでの資金繰りが厳しいため、開業支援資金のうち設備資金の限度額の引き上げ、貸付期間の延長（7年以内→10年以内）、据え置き期間の延長（1年以内→2年以内）について検討いただきたい。
- (2) 「健康経営優良法人認定制度」認定企業、「長野県SDGs推進企業登録制度」登録企業への優遇制度の創設及び経営安定借換資金の融資対象に利益率の減少要件を加えていただきたい。（いずれも長野県中小企業融資制度では導入されています。）
また昨年の回答で検討中となっている「事業継続力強化計画」認定企業に対する優遇制度の創設をお願いしたい。

11. 電動車普及のための充電施設設置への支援について

環境に優しい電気自動車（EV）の普及が進んでおり、多くの自動車メーカーがEVの開発と製造に取り組んでおります。一方充電設備の整備は遅れております。

充電インフラは民設民営で有料化という県のビジョンに基づき、市は「民設民営で営利事業として実施していただく」ということを基本としていくということですが、設置費の高額な充電施設の普及を図るため、充電施設の設置に対しての補助制度を検討していただきたい。

12. 産業人材育成について

- (1) 人口減＝「労働力人口の減」は、製造業をはじめ、卸売・小売、建設・観光関連業など市内全産業において大きな経営課題となっています。各社それぞれに努力しているものの、採用確保や人材育成はとても追いついていない状況であります。人材育成に関する助成金など拡充を期待する声もある一方で、将来を見据えて、諏訪市として産業人材の育成の優先順位をあげて取り組んでいただきたい。

具体的には、全世代教育（学校教育・生涯学習・特に産業人材教育など）を推進できるよう計画を策定し、他地域に先駆けて横断的に組織改編し専門部署を設けて取り組むとともに、諏訪市として「産業人材育成」を諏訪市総合計画の基本方針に加えて、しっかりと取り組んでいただきたい。

(2) 公共の教育機関だけでなく、民間私学を活用するという視点も是非取り入れていただき、廃校施設などに、「全国、世界から見て魅力的な学校を誘致」すべきであります。魅力的な学校は、諏訪市民の育成はもちろん、諏訪地域をはじめ全国から学びのために諏訪市へ移住・通学する人を増やす取り組みでもあり、新たな教育という産業振興にもつながる可能性があるため、是非、「全国、世界から見て魅力的な学校を誘致」していただきたい。

1 3. 統廃合による廃校となった校舎の活用について

統廃合により廃校となった校舎について、企業誘致や交流人口増加のため、サテライトオフィスやリモートワークの拠点として整備・活用していただきたい。

あわせて、災害発生時の避難所としての活用についても検討していただきたい。

1 4. 諏訪湖周辺への駐車場の確保と観光客にわかりやすい案内板の設置について

諏訪湖スマートインターチェンジの完成により、諏訪湖・上諏訪温泉へのアクセスが向上し、諏訪湖周辺への車両の増加が予想されますので、駐車場の確保とあわせて、市街地で迷うことがないように、的確な案内看板の設置をお願いしたい。

1 5. 産業関連集積地周辺の老朽化したインフラ整備について

諏訪市工業団地周辺は、造成後経年劣化が進み用水路や接続道路の痛みが激しく、道路や用水路の地盤沈下も進んでおり、大雨で道路が冠水に近い状態になることも多々あり、危険であるため、優先的に改修を進めていただきたい。

1 6. 市内道路の渋滞解消のための研究について

国道20号線や湖岸線など、朝夕の通勤・帰宅時間帯に慢性的な渋滞が発生しております。

渋滞解消のため、右折レーンの設置、信号機の停車時間、スクランブル交差点の信号の見直しなどについて研究し、必要な渋滞解消対策を講じていただきたい。

17. 諏訪市議会中継のオンデマンド配信について

現在、諏訪市議会の代表質問・一般質問はかりんチャンネルによりLIVE配信されておりますが、市政の関心ある事項などについては、LIVE配信を見逃した場合、10日後くらいにならないとYouTubeで視聴することができません。

この期間を短縮していただき、オンデマンド配信について検討していただきたい。

18. 長野県への要望について

下記事項について、長野県に対して要望していただきたい。

(1) 地域に建設産業や観光について学ぶ学科がある高校があると、地元就職が望めます。

岡谷工業高校、諏訪実業高校の再編計画がありますが、その機会に建設産業系学科及び観光学科の新設。

(2) きれいな諏訪湖を取り戻して、地域の魅力を向上させるため、諏訪湖及び流入河川の浚渫の再開。

(3) 市内道路の渋滞解消のため、右折の方法など道路交通法の教育を、免許更新時講習などでの徹底について。